



公益財団法人日本国際問題研究所

The Japan Institute of International Affairs

報道関係者各位

令和3年1月28日
(公財)日本国際問題研究所

日本国際問題研究所の「シンクタンク・オブ・ザ・イヤー2020」受賞について

日本国際問題研究所は、2021年1月28日付で公表された米国ペンシルバニア大学による2020年世界有力シンクタンク評価報告書において「シンクタンク・オブ・ザ・イヤー2020（世界トップシンクタンク賞）」(2020 Think Tank of the Year—Top Think Tank in the World)を受賞しました。

また、全世界のシンクタンクのランキングにおいても過去最高の8位となりました（2019年は13位）。

【日本国際問題研究所 会長 岡素之 コメント】

この度、日本国際問題研究所が「シンクタンク・オブ・ザ・イヤー2020」を受賞したことは大変光栄です。未来に向けた日本と世界の安定・成長・発展のための地道な調査研究と対外発信が評価されたものと考えます。今後、海外の調査研究機関や有識者とのネットワークを通じた発信、並びに日本国内での外交・安全保障問題への関心を高めるための活動を一層強化してまいります。

【日本国際問題研究所 理事長 佐々江賢一郎 コメント】

この度、日本国際問題研究所が「シンクタンク・オブ・ザ・イヤー2020」を受賞したことは、当研究所の活動が世界的に高く評価いただいていることと考え、大変喜ばしく思います。理事長に就任以来、激動する国際情勢の中で、「日本におけるシンクタンクの役割はどうあるべきか」、「シンクタンクに何ができるのか」を問いながら、対外発信の強化を含め、新しい取り組みを鋭意進めてまいりました。今回の受賞を機に、こうした取り組みを一層強化してまいります。

世界有力シンクタンク評価報告書の概要

米国ペンシルバニア大学ローダー研究所の「Think Tank and Civil Societies Program」（以下、TTCSP）は、2006年以来、世界の優れたシンクタンクをカテゴリー別に評価する「世界有力シンクタンク評価報告書（Global Go To Think Tank Index Report）」を毎年作成し、1月に発表しています（URL: https://repository.upenn.edu/think_tanks/）。同ランキングは、世界の約7500のシンクタンクおよびメディア、民間、政策担当者へのアンケート調査に基づき、TTCSPの専門家パネルが審査を行い決定しています。主な評価基準は、社会への影響、経営のリーダーシップの質、研究成果物や専門家の質、有益な情報の発信、政策関係者とのネットワークなどが挙げられています。

今回日本国際問題研究所が受賞した「シンクタンク・オブ・ザ・イヤー」の過去3年間の受賞研究所は以下の通りです。

[2019年] Carnegie Endowment for International Peace [2018・2017年] Brookings Institution

また、全世界のシンクタンクランキングにおける日本国際問題研究所の過去3年間のランキングは以下の通りです（アジアのシンクタンクの中では常に1位）。

[2019年] 13位 [2018年] 14位 [2017年] 11位

【本件お問い合わせ先】当研究所研究員: 柳田 健介
当研究所研究助手: 石塚 陽子

E-Mail: press@jia.or.jp

Tel: 03-3503-7801